

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		キラキラ東仙台		公表日		2025年3月20日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	4	身体を動かしたい利用者や座って作業する利用者で勉強部屋を活用したりスペースを分けて使用していたり、天気のいい日は公園へ行き分けているが、動く利用者の割合が多い為部屋スペース的には足りないかもしれない。	令和7年度から低学年と高学年で活動の違いも出てくるので、時間等で活動を分けたりとの課題がある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		既定の配置より多めの配置になっている		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	3	全体的には分かりやすい構造にはなっている。情報伝達は朝礼・終礼・グループLINEで都度行っている。玄関とトイレは段差がある。	子ども一人一人に合わせた構造化にはなっていないが、低学年は個別で予定表を張り出している。高学年向けのツールも検討中。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	3	毎日掃除をして清潔なよう心掛けている。	令和7年度から低学年と高学年で活動の違いも出てくるので、時間等で活動を分けたりとの課題がある。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	1	業務改善が必要な場合は都度発信し、職員の意見の下改善できるようにしている。	非常勤の職員との連携・確認の向上を目指す	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	集計・開示については職員と共有しており、いつでも集計がみられるように掲示している。	評価表を基に、毎日の支援の中で今後も保護者意向を把握しながら業務を行っていく	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	業務改善が必要な場合は都度発信し、職員の意見の下改善できるようにしている。	非常勤がいつも話し合いに参加できる訳ではないので、差が出るところが課題	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	4	第三者を呼んで外部評価を行っているわけではないが、利用時間に来ていただいた保護者様からは表を頂くことが多い。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		1年を通して各専門職員から内部研修を行っている。また必要に応じて個別での研修も受講する機会を与えてもらっている		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9			発進が苦手・特性上難しい利用者においては今以上に工夫が必要	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1		フォーマルなアセスメントを使用する為には時間とお金がかかる為、他所での結果を利用することになっているのが、フォーマルなアセスメントツールを使用する事を検討している	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		休校日においては事前に職員と話し合いながら決定している。放課後の集団活動においては個別で立案するが、児発管を通して全体で共有している		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		目的別に様々な活動を全職員で話し合いをしながら起案している。人気のあるレクは何度かする場合がある	初めての活動や場所に抵抗ある児童に対して、事前に説明(可視化)をしているが理解に時間がかかる場合がある。または当日に切り替えが出来ない時の課題はある
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		毎朝の朝礼時に共有している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		毎日の終礼で振り返りを行い、改めて検討すべき内容についてはミーティングを行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		自己選択ができるように工夫している	全職員での共有の向上と統一を更に目指していく
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	3		利用者によって行えていたり行えていないことがあるので、今以上に連携を図りたい
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	6	保護者から情報を頂くことが多い	今後積極的に情報収集や共有を行っていきたい
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	4	過去に卒業生が一人しかおらずその時は相談支援事業所と以降について共有を図っていた。	現在中高生が増えてきたため、今後卒業していく利用者に対しては情報共有していく必要がある
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	7	日時の都合等もあり、個別で研修を受ける形となっている	機会があれば専門分野の方からの指導や研修を受けて、サービスの質の向上をしたい
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		9		体制問題やトラブル等の懸念から他の子どもとの関わる機会がない。今後
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	2	7	前年度は参加をしたが、今年度の参加はできていない	日時の都合がつかないことが多く参加が難しい状況。また内容によってはどこまで事業所で活かせるかや、質疑応答等がない為落とし込み時間がかかる場合がある。だが今後は積極的に参加を心掛けたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		送迎時、連絡帳、LINEや面談を通じて適宜必要に応じて行っている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3	保護者宛に研修の場を設けているわけではないが、必要に応じて送迎時に相談を受けたり、来所いただき面談をしている。またこちらから分かる範囲で必要な情報を提供している	研修を設ける体制や日時が整わず保護者を集めての支援は難しいのが課題。ただ個別で必要に応じて積極的に家族支援は行っていきたい
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		9		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		9	地域住民の招待は行っていないが、ボランティアの方にマジックショーや腹話術、楽器演奏を行って頂いたり、東警察署に訓練を行って頂く等地域の活用はしている	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		アレルギーのあるお子様は表にして職員が分かるように貼りだしている。また昼レクやおやつレク等行う時は個別で確認を行う場合もある。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9				